

令和4年度 大阪府立光陽支援学校 第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立光陽支援学校
校長名	藤野 洋子

開催日時	令和4年6月29日(水)
開催場所	本館1階 図書室
出席者(委員)	宮本 正路(委員) 北埜 恵一(委員) リモート参加:小田 浩伸(会長) 平賀 健太郎(副会長) 金本 香織(委員)
出席者(学校)	藤野 洋子(校長) 道前 光司(事務長) 篠川 一樹(教頭) 中村 素子(教頭) 竹内 成江(首席) 藤原 克行(首席) 菊池 亮輔(首席) 網中 有里(指導栄養教諭) 佐藤 薫(指導教諭・病弱部主事) 辻 美穂(小学部主事) 佐々木 敦子(中学部主事)
傍聴者	無
協議資料	下記議題関係資料及び意見書
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 「学校運営協議会委員」及び「事務局」自己紹介</p> <p>(3) 「学校運営協議会会長及び副会長」の選出</p> <p>(4) 「学校運営協議会実施要項」「学校運営協議会傍聴に関する要領」の確認</p> <p>(5) 本年度の予定</p> <p>(6) 本年度「学校経営計画」について</p> <p>(7) 意見交換</p> <p>(8) 教頭挨拶</p>
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)
<p>(1) 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、「光陽 GoGo プロジェクト」2年目、創立60周年の年にあたる。 ・大切にしていきたいことを大谷尚子著『「あなたが大事」の伝え方』より紹介したい。「あなたが大事」と大人から子どもへ言葉・心・体を使って毎日伝えることが大切。自分を大事にされることが他人を大事にする心につながっていく。 <p>(2) 「学校運営協議会委員」及び「事務局」自己紹介</p> <p>(3) 「学校運営協議会会長及び副会長」の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に大阪大谷大学 小田様、副会長に大阪教育大学 平賀様を事務局より推薦、全員一致で信任。 <p>(4) 「学校運営協議会実施要項」「学校運営協議会傍聴に関する要領」の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、保護者の傍聴席を設けていない。その代わりに、意見書を出していただく形に変更。 <p>(5) 本年度の学校運営協議会の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回6月29日、第2回12月中旬、第3回2月中旬の3回開催予定

(6) 本年度「学校経営計画」について

- ・「めざす学校像」については、昨年度と同様の4つの柱で取り組んでいく。
- ・「中期的目標」について
「学校経営推進費」を昨年度受け、「光陽 GoGo プロジェクト」に3年間で取り組んでいく。
- ・本年度の取り組み内容について映像を見ながら説明
 - ① 本校の給食について
段階食・個食配膳・行事食・ポッチャ応援献立・卒業お祝い献立・給食調理員の仕事の様子 等
 - ② 「光陽 GoGo プロジェクト」について
スパイダー・ベビーロコ・スヌーズレン 等
 - ③ ポッチャ甲子園オンライン予選の様子
 - ④ SDGs の取り組みとして高等部の授業で「ポリフ」マスクケース作成の様子
 - ⑤ 教職員の腰痛対策として、移乗介助用リフト、パワーアシストスーツの導入を検討

(7) 意見交換

- ・下欄に記載

(8) 教頭挨拶

委員からの意見の概要

1. 給食の取り組みについて

- ・段階食等、給食の取り組みについて感心しながら映像を見せてもらった。給食は、安心安全につながる一番の取り組みであると思う。
- ・調理室の様子を映像で初めて見て興味深かった。
- ・安心安全な給食の取り組みを保護者に発信することが保護者の安心につながると思う。

2. 組織力の向上、発信力の向上について

- ・光陽支援学校は、府立支援学校の中で唯一の肢体不自由部門と病弱部門の併置校。2つの部門の連携が組織力の向上につながっていることがあれば、光陽オリジナルの実践として発信してもよいのではないかと。
- ・組織として一丸となって取り組んでおられることが伝わってきた。取り組みを有効に発信して欲しい。
- ・センター的機能の新しい視点として、小・中学校への「自立活動」に関する支援、高等学校への支援も必要になってくると思う。

●意見をを受けて校長より

- ・肢体不自由部門、病弱部門、どちらも命に向き合う教育。お互いが高め合えるよう意識をしながら進めていきたい。
- ・授業力向上の取り組みとして、「授業振り返り研修会」「授業参観週間・交流会」を実施している。これまで、病弱部では互いに参観し合うことが難しかったが、今年度、教員の中から声が上がり、病弱部の小・中学部、2つの分教室間で、オンラインも活用しながら授業を参観し合うことが実現した。
- ・センター的機能の一環として、夏季公開オンデマンド研修を実施している。昨年度、病弱部から「起立性障害」について発表し、地域から高評価を得た。肢体不自由部門の教員も勉強になった。
- ・皆さんからいただいたご意見を今後に生かし、すすめていく。

次回の会議日程

日時	令和4年12月中旬予定
会場	大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室